

ボランティア「3つのあい」であいふれあい たすけあい



本日の活動についてみんなで打合せ



ボランティア活動について毎月開催されている研修会



実際の活動を行うボランティアのAさんとOさん

病院ボランティア



社会福祉法人聖テレシリア会ヨゼフ病院（以下「ヨゼフ病院」）では、現在26名の方がボランティア登録しており、幅広い年齢の方たちが、学業や仕事の都合に合わせて活動をしています。ヨゼフ病院では、ボランティア活動を広めてもらうための研修会を毎月実施しているそう
で、今回はそちらに参加されているボランティアの方たち取材して
きました。

Aさんは、以前、聖ヨゼフ病院の患者でしたが、現在は週に1日2時間程度、ボランティアとして検温や拭き消毒、本棚整理を主にしているそうです。活動のきっかけは、入院中の病床に本を届けてくれたボランティアの存在だったそうで、その後退院してから4年間、ご自身も活動を続けているとのこと。「自分のためにプラスになる」とがたくさんあり、勉強させてもらっています。体が動くうちは、続けていきたいです」と明るい表情で話していました。

Oさんは、以前、ヨゼフ病院で看護師として働いていたそうです。現在は週に2日程度、外来や車いすの方に、病院内の案内を行う活動をしていきます。総合福祉会館で、ヨゼフ病院のボランティア募集を知り、元々馴染みのあった場所なのでやってみようと思い、4カ月前から活動を始めたそうです。「80歳の一人暮らしで時間もあるので、職員の方に教えてもらいながら活動を続けています」と元気に話していました。現在は横浜市在住ですが、ボランティアとして外来の案内をしているときに、昔住んでいた実家の近所の方たちが来て、そこから交流が再開したというエピソードも教えてくれました。

「二人では、会う人会う人が本当に温かい。だからボランティアをやってみようと思ったし、続けられているんです」とお二人が話していたのがとても印象的でした。

聖ヨゼフ病院では、ボランティアの方たちの自主性を大切にしております。ボランティアが活動の中で感じたことを形にしていける活動をしていきます。また、ボランティアの興味や関心に応じて、職員がレクチャーの場を設けることもあるそうです。このような取り組みが、ボランティアとして活動している方たちにとって、大きな魅力になっているのかもしれません。

（A・K）

